

しまびとの暮らしに息づく

島の伝統芸能

金銀山の隆盛・北前船の寄港による全国各地との交流や様々なかたちで佐渡に渡ってきた貴族や文化人がもたらした文化や芸能が佐渡の地で息つき、今も人々の暮らしに溶け込んでいます。島の芸能に触れ、参加することで心に残る体験ができます。

学習のねらい



歴史・文化

1 佐渡の歴史や文化を学び、そこに息づく芸能を実際に体験することで理解を深める。また、人々が協力して伝えてきた伝統芸能を通して、家族や地域の絆を考える。

2 様々な世代の指導者と接し、日常では接することのない異世代交流をすることにより世代の違う人とのコミュニケーション能力を付ける。



活動1 所要時間 2～3時間

神事芸能 鬼太鼓を舞う

鬼太鼓は佐渡で伝承されている神事芸能で、現在約120の集落で受け継がれています。年に一度行われる各集落の祭礼で各家をまわり、家内安全を祈願し悪魔払いをするものです。地域の青年団など若者が参加しています。体験では太鼓のリズムを覚えて叩いたり、鬼の舞いを習ったりして、太鼓に合わせて舞を披露します。



活動2 所要時間 2時間

国の重要無形民俗文化財 文弥人形芝居体験

江戸時代中期から金銀山で賑わっていた佐渡では、寺社などの祭りで人形芝居が行われていました。明治の初めに文弥節の語りに合わせて演じられる形で広まり、昭和の中頃までは農閑期や祭りなどで披露され、人々の娯楽になりました。文弥人形芝居を鑑賞し、人形を実際に持って動かしかたを体験したり、振る舞いを習ってみませんか。



活動3 所要時間 2時間

世阿弥が伝えた「能」を舞う

佐渡では、農家の人たちが畑仕事で謡曲を口ずさんだほどで、能がこれほど庶民の生活の中に浸透しているところは全国でも珍しいといえます。体験では能舞台での所作から始まり、声の出し方、姿勢、舞いなどを学びます。自然に囲まれた本物の能舞台を使った体験は非日常を感じさせます。



お問い合わせ



佐渡観光交流機構
〒952-0011 新潟県佐渡市両津夷353 (両津港佐渡汽船ターミナル2F)
TEL. 0259-58-7285

佐渡太鼓体験交流館(たたこう館)

佐渡で太鼓体験が気軽に出来る佐渡太鼓体験交流館もおススメ。佐渡を拠点に活動を展開する太鼓芸能集団「鼓童」のスタッフが楽しく指導する太鼓体験を通年で実施しています(要予約)。佐渡産材を使った木造の心地よい空間の体験ホールには、推定樹齢600年のケヤキの大太鼓(2台)が常設しており、大迫力の重低音を体感できます。

